

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人

小羊学園

〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町 2709-12

電話：053-584-3337 FAX：053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人

印刷所：S R S株式会社

定 価：一部 30 円

2016年1月20日

第 392 号

新年に寄せて

自由と秩序を考える

理事長 稲松 義人

新年早々個人的なことで恐縮だが、昨年と昨年、続けて同じ月に孫が生まれた。同居しているわけではないが正月には我が家に顔を揃えた。1歳9ヶ月と9ヶ月のいずれも男の子で従兄弟同士である。自分たちが責任をもって子育てしたときと違って、ゆつたりと孫の成長の様子を楽しむことができるのは「ジージ」の特権である。

上の子は、言葉を理解しはじめており、大人たちのいうことの意味を理解して反応する。不明瞭な発音ながらもいくつかの言葉を話すこともできる。下の子は、指差しし声を出して訴えるようになったが、まだ言葉はない。大人たちの言葉もどこまで意味を理解しているのかははっきりしない。個人差はあるにせよ、二人を見ていると一年でこれだけ成長するのだというのをあらためて教えられる。

下の子も母親がいることで安心を感じているため、たまに出会う私も一定の距離をおいていれば泣くことはないが、不用意に距離を詰めようとすると不安になる。いわゆる「人見知り」である。子どもは、多くは母親との関係の中で安心感を得、情緒的に安定して成長していく。安

心感があると子どもは目に見えるもの、聞こえるもの、手に触れるものに興味を示す。やがて力がつき、だんだんと身のこなしが自由になり、自分の意思で動くようになる。自由であるということは、見方を変えれば自分本位に動くことである。

もちろん、母親との関係を後ろ盾にしての「自由」である。だから最終的には母親に認めてもらえるかどうかが行動の規準になる。乳児期の自己主張は泣くことが中心である。赤ちゃんが泣いた時に母親はたいてい子どもの思いに寄り添ってくれる。そして、自己主張する子どもと母親との駆け引きがはじまる。しかし、母親の態度に一定のルールが感じられるときに、乳児であつても規律をもつことができるようになる。ここから少しづつ「しつけ」がはじまる。

そして、この母親と子どもとの対面的な関係の中に、父親が入り、母親とは違った関係をもつようになる。きょうだいがいればそこにもあたらな関係が生まれる。かつては厳しい自然環境の中で生きるための規律、社会で生きるための秩序は、そこで闘って生きていく父親が示したのではないだろうか。

自分の意思で生きてよいということと、他者との関係の中で、また自然や社会のルールの中で生きなければならぬこととのバランスを学びながら、人は人間として育っていく。これは、0歳児でも1歳児でもそれなりにその子の力に合わせて

必要なことである。

知的理解力の面でハンディがあったり、感覚的な面での個性が強かったりする子どもの場合、関わり方にはその子に応じた配慮が必要ではあるが、基本的には同じだと思っている。

若い親たちの中には、子育ての責任感から子どもを前もって規制しようとする人がいる。しかし、本来、規律や秩序は、外から押し付けられて自分を不自由にするものではなく、獲得することで、自分自身が安心して自由に生きることができるようになるためのものである。だから、子ども自身がそれに気づいて獲得していきながら、大人たちは「自由」と「秩序」の両方を保障しなければならぬ。そのためには、大人自身が秩序のなかで、自由に生き活きとしていなければならぬ。楽しそうに暮らして見せなければ、子どもたちは楽しい人生を送ることができよう、健やかに成長していかない。

逆に、自ら秩序をもたないことを自由だと勘違いしている大人も多いような気がする。規律や秩序は力のあるものから押し付けられるから我慢をして従うもので、自分の力を誇示できるところでは自分勝手な生きることが自由だと思っ込んでいる。

小羊学園がつくるコミュニティが、自由と秩序の感じられるところであつてほしいと願いつつ、今年「ジージ」の目線でゆつたりと目配りしたい。

イエス様のご降誕をともに祝う

小羊学園はキリスト教主義に基づき運営しています。イエス様の誕生日であるクリスマスは、各施設でもとでも大事にしているイベントです。今回は、通所施設のクリスマスをご紹介します。

小羊デイケアホーム

「感謝と喜び」

小羊デイケアホーム 内山 千里

クリスマスおめでとうございます。

今年の小羊デイケアホームのクリスマス会はイエス様の誕生日である12月25日に、遠州栄光教会をお借りして行いました。教会をお借りしてのクリスマス会は今年で2回目となります。利用者やご家族のみなさん、そしてデイケアホームを支えて下さる方に感謝の気持ちを込め、旧職員や同法人内の利用者、職員、聖隷クリストファー大学の学生さんをお招きし、80人程でクリスマスを祝いする事が出来ました。

デイケアホームでは12月に入ると活動の中で準備を行いながら、クリスマスが近づくのを感じていきます。散歩で集めた松ぼっくりはリースやキャンドルスタンドに飾りつけます。「たくさん拾えたよ」と袋いっぱい松ぼっくりを手に、散歩から戻られた利用者の笑顔からは、達成感や期待にあふれた思いを汲み取る事が出来ました。手作りのジン

ジャークッキーをホームのあちらこちらに飾り付け、リングを磨き、もみの木に吊るします。アドベントカレンダーもステンシルと貼り絵の活動の中で制作しました。前日には祝会で振舞うパウンドケーキ作りを行い、一人ひとりが出来た形で準備に携わりながらクリスマスを迎えました。

当日は、皆さんが正装され少し緊張した面持ちながらも礼拝堂へと集い、静かに礼拝を守りました。教会にある大きなツリーにろうそくの明かりを灯し、讃美歌を歌い笑顔でクリスマスが迎えられた事に嬉しさを感じるひとときでした。教会では、例年より早くツリーをご用意いただき、散歩で立ち寄った際には、飾り二つ二つの意味をお話しして下さいました。感謝の気持ちでいっぱいでした。礼拝後にはツリーの前で写真を撮られる方がたくさんいらっしゃった程、素敵なツリーでした。

その後、集会所へと場所を移し、祝会の始まりです。スライドショーでは活動や行事の様子をご覧頂きました。日頃の様子を少しでもお伝えする事

が出来たでしょうか。いろいろな日がありますが、でも写真の笑顔は、みなさんとっても素敵でした。一年を振り返りながら、素敵な笑顔と共に時間を共有させてもらうことが出来たこと、本当に嬉しく思います。自分の頑張っている姿を見せ、自信にあふれた表情の利用者さん、笑顔で見つめる保護者の方々が印象的でした。そして毎年恒例の職員による出し物では、アドリブだらけの劇にも関わらず、歌と踊りが大好きな利用者の方々に逆に盛り上げて頂きました。前夜に一緒に踊ってくれた方もいましたね。

最後に、メッセージと共にプレゼントを受け取り、皆さんこの日一番の笑顔を見せて下さり、素敵なクリスマスをお過ごし事が出来ました。

準備期間も楽しんだ

クリスマス会

マルカート 庵原 祐希

12月18日、総勢70名ほどがマルカートのホールに集まり、温かい雰囲気の中クリスマス会が開かれました。

2ヶ月ほど前からアルバム作りやラティス貼り、ケーキやクッキー作りを活動内に取り込み、装飾にもこだわってマルカートらしさを大切にしながら、利用者の皆さんと会場の準備期間を楽しみ、クリスマスムードが高まっていきました。

当日は浜松元城教会より張田牧師夫妻をお招きして、牧師による礼拝、夫人によるピアノによる奏楽で讃美歌を歌い、その後には魅惑的倶楽部(エキゾチッククラブ)の皆さんの歌やショーが始まります。手拍子をしながら一緒に歌を唄ったり、ステージの前に出て来て踊り出す利用者もいて、会場がワイワイ盛り上がりました。ティータイムでは活動で作ったケーキやクッキーが振る舞われ、マルカートの1年分の思い出が詰まった、スライドショーを見ながら美味しく頂くことが出来ました。

そして最後には待ちに待ったサンタさんの登場です。今回サンタさんは、アンサンブル江之島内にある施設の「ポコアポコ」の松本施設長にお願いを頂きました。利用者の皆さんがどのような反応を





するの、ドキドキしながら様子を見守らせて頂きましたが、サンタさんからプレゼントが一人一人に手渡しで渡っていき、嬉しそうな声を上げる方、表情を見せてくれる方もいて、会場が和やかな空気に包まれ、みんなが笑顔になっていました。

私自身マルカートのクリスマス会は初めての参加となりましたが、賑やかであつという間に時間が過ぎてしまう楽しいクリスマス会となりました。

君は愛されるため生まれた♪

オリブの樹 榎 亜珠加

12月に入り、クリスマスの準備が始まり、食堂や廊下などが華やかになりました。モールを使いデコレーションしたり、利用者が手作りしたリースや、折り染めで作ったリースを飾ったりして、一気にクリスマスモードに突入です。

12月22日のクリスマス会は、浜北教会の大橋牧師による礼拝が行われました。その後『グレイスゴスペルクワイヤー』の皆さんによるゴスペルショーが開催されました。この方々は2000年から活動をされていて、今回はPA(音響)の方を含め、10名ほどが参加してくれました。普段は20名ほどのメンバーで、月2回レッスンをしているそうです。様々なイベントにも参加されていて、最近施設や病院のイベントが多いそうです。

曲は Joy to the world から始まり、全部で5曲披露してくださいました。その中でも韓国の手話の曲で「君は愛されるために生まれた」は、とても心に響き感動しました。職員からは「感動して涙が出そうだった」との声もあがりました。利用者もリズムに合わせて体を揺らしたり、手拍子をしたり、地域で活躍されている方々と交流もでき、楽しいひと時を過ごすことができました。また、グレイスゴスペルクワイ

ヤーさんから『イベントを通じて、毎回皆から元気をもらえる』と話して下さい、その言葉が一番のクリスマスプレゼントになりました。

昼食は、豪華なクリスマスランチでした。アツアツのグラタン、フライドチキン、いちごがのつたパンナコッタなど、皆で賑やかに乾杯し、頂きました。

午後はケーキ作りをしました。各班思い思いのケーキを作り、ケーキと紅茶でティータイムをしてから、いよいよお待ちかねのプレゼントタイムです。ゲストとして皆さんが大好きな旧職員の松原さんがサンタになって登場してくれ、一人一人にプレゼントを配ってくれました。今年のプレゼントは福島の施設ビーンズさんをお願いしたトートバックです。ビーンズさんとの繋がりも大事にしていけたらと思っています。

今年度は増築もされ、使用できる部屋も増えたことで、無理のないスケジュールを組むことができ、ゆつくりと充実した1日を過ごすことができました。来年もどんなクリスマス会になるか、とても楽しみです。



成年後見制度の勉強会開催



小羊学園療育福祉研究所主催で、法人内の通所施設のご家族を対象とした成年後見制度の勉強会を、12月2日、9日と2回に分かれて開催いたしました。会場は2日が支援センターわかぎ、9日がアンサンブル江之島で開催しました。両日とも、講師に「浜松成年後見センター」副代表理事の堂本京子氏をお招きしました。各会場20人程度の保護者と通所施設の職員が参加して講話を伺いました。主な内容は成年後見制度に関わる基本的な仕組みや、実際に成年後見人を立てた事例等でした。

ご本人の財産管理や福祉サービス契約等、ご家族も高齢になる中で成年後見制度について再考する良い機会となりました。

**仕事の楽しさを共有しよう！
グループホーム学習会を開催**

法人研修委員会生活支援部門主催のグループホーム学習会が1月13日に行われました。日頃、単独配置で業務することの多いグループホームの支援員が集い、利用者とのやり取りで楽しいこと・嬉しいことを共有し、この仕事の喜びを感じあうグループワークを行いました。「自分たちが楽しくなければ、利用者も笑顔にならない」「利用者の新しい一面が見られると何よりも嬉しく思う」など、多くの意見が挙げられました。

**小羊学園 創立50周年
感謝の集いを行います**

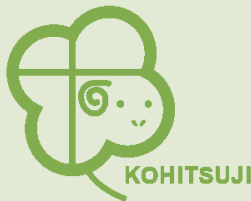
小羊学園は1966年に山浦俊治・明子夫妻によって知的障害児施設として開園し、今年で50周年となります。法人では、小羊学園開園50周年を記念し、下記のとおり感謝の集いの開催を予定しております。現在、長年のご厚誼のある方を中心に案内状の発送準備をしております。お問い合わせがありましたらご連絡ください。

開催日：2016年4月30日（土）

時間：記念式 11時00分～12時00分
感謝会 12時30分～14時30分

ところ：ホテルクラウンパレス浜松

*感謝会終了後、新しくなった三方原スクエア・支援センターわかぎのバス見学ツアーもございます



私たちと一緒に働きませんか！

年度替わりにあたり、若干名の正規職員の補充を行います。お近くに障がい者福祉に興味のある方がいましたら、ぜひご紹介下さい。詳しくは、小羊学園法人本部まで。

問合せ先

小羊学園法人本部 担当：池谷
TEL：053-584-3337

編集後記

小羊学園の50周年記念にあたり、開設当初から時代を追って写真の整理を進めている。時代の流れを感じながら作業を進めているが、1枚1枚感慨にふけ中々作業が進まない。これから先のことを考える上で、その人たちがどのような歩みがあったのか振り返ることはとても大切だと思った。「今のあなたは幸せですか」そう写真に写っているおひとりお一人に問いかけながら、今私たちが支援している意味を再考したい。

大寒の候です。感染症対策に気を付けていただき、お身体ご自愛ください。

(F)

小羊学園を支える会

2015年度 寄付金報告

12月 受付分 3,024,300円 (167件)
累計 8,216,450円 (311件)

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行 089店 当座預金0107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局（鈴木）
小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337